

IR REPORT

第89期 中間決算のご報告

2023年4月1日～2023年9月30日

TOP MESSAGE

株主の皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

2023年4月1日から2023年9月30日までの当社第89期第2四半期の営業の概況についてご報告申し上げます。

2023年12月 取締役社長

布原達也



◆ 2024年3月期第2四半期の概況

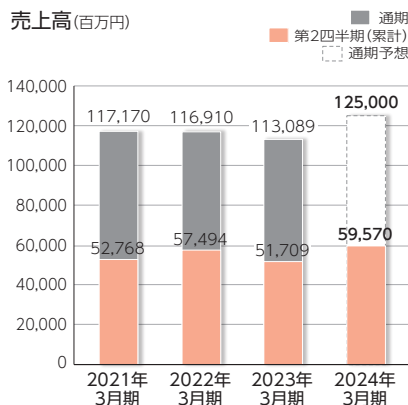
当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、コロナ禍からの経済活動の正常化により景気は緩やかな回復基調を維持しました。一方で、不安定な国際情勢と世界的な金融引き締めによる景気減速リスクに加え、原材料及びエネルギー価格は高止まりが続き、急速な円安を背景に物価の上昇が懸念されるなど、先行きは極めて不透明な状況で推移いたしました。

このような状況下、当社グループは2031年3月期(2030年度)を見据えた長期経営ビジョン「～Kyokuto Kaihatsu 2030～」の実現に向けた第1ステップである中期経営計画(3カ年計画)2022-24「～Creating The Future As One～(2022年4月1日～2025年3月31日)」の2年目として、生産性向上による利益体質の強化や、持続的成長と変革を支える強固な事業基盤の構築など各施策の実行に努めました。

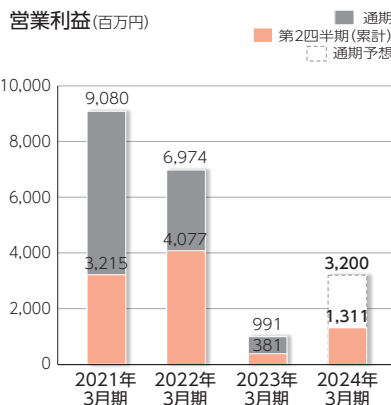
この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は前年同期と比較して(以下、前年同期比)売上高は前年同期比7,860百万円(15.2%)増加し59,570百万円となりました。営業利益は前年同期比929百万円(244.0%)増加し1,311百万円、経常利益は前年同期比970百万円(109.2%)増加し1,858百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比335百万円(46.0%)増加し1,063百万円となりました。

◆ 業績ハイライト

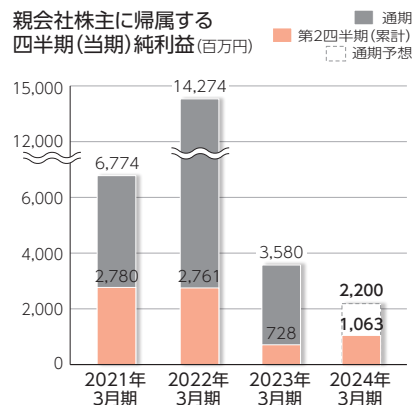
売上高(百万円)



営業利益(百万円)

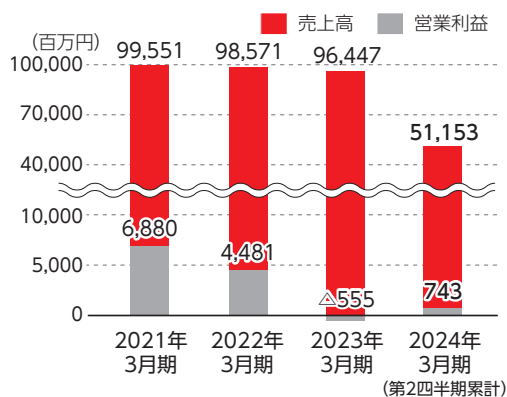
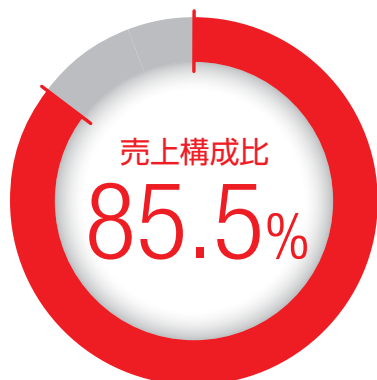


親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益(百万円)



※2022年3月期は、13,221百万円の特別利益を計上

特装車事業



国内需要は底堅く、受注は好調に推移しました。しかし原材料及びエネルギー価格は高止まりが続いたほか、トラックシャシの供給は徐々に改善の傾向が見られましたが、本格的な回復にはもう少し時間を要する見通しとなりました。

当社グループでは製品価格の改定を進め、利益の改善に努めました。価格の改定につきましては今後も継続的に取り組んでまいります。

また、生産の合理化と能力増強のための設備投資として、福岡工場の新工場棟及び新事務所が竣工しました。新工場棟は、堅調な大型リヤダンプトラック及びダンプトレーラの需要に対応すべく、生産能力が現状比で約30%向上する見込みです。

さらに、サービス・メンテナンス等のストックビジネスの強化を図るため、2023年5月に九州地域におけるサービス指定工場である(株)九州特殊モータースをM&Aによりグループ化いたしました。

海外事業においては、インドにおける好調な需要を背景としてグループ会社であるSATRAC社がチェンナイ市近郊にて計画している新工場建設に向け、タミル・ナドゥ州首相と投資覚書への署名と土地の取得を実施し、今後の設備投資に向けた準備を進めました。また、インドネシアにおいてはマイニング向けダンプトラックの需要が高水準で推移したため、売上・利益共に大幅に増加しました。

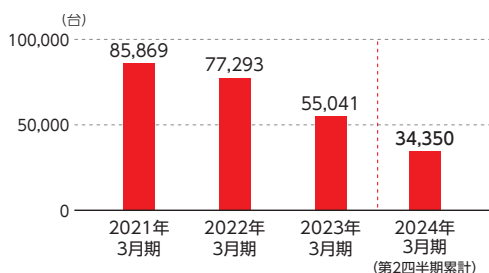
当セグメントの売上高は前年同期比6,368百万円(14.2%)増加し51,153百万円となりました。営業利益は前年同期比898百万円改善し743百万円となりました。

なお、2023年7月にグループ化いたしましたオーストラリアの販売代理店であるImport Machinery and Equipment Pty Ltdは、2023年10月1日付で社名をKyokuto Australia Pty Ltdに変更いたしました。今後、同社が当社グループであることを現地に浸透させることにより、当社ブランドの定着を図ってまいります。



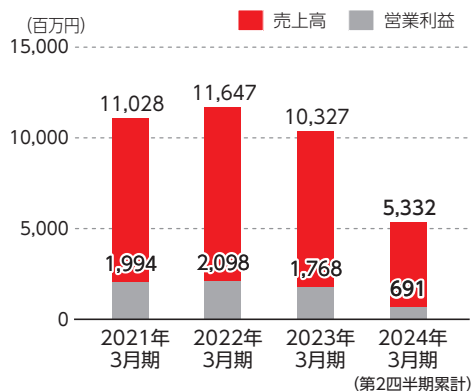
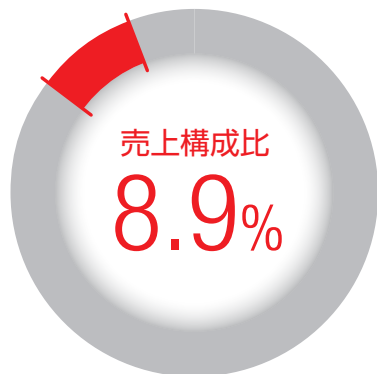
福岡工場 新事務所

●国内普通トラック登録台数の推移



Kyokuto Australia Pty Ltd 本社・工場外観

環境事業



プラント建設では新規物件の受注活動と受注済物件の建設工事を進めた結果、2023年9月に東京二十三区清掃一部事務組合様より中防不燃・粗大ごみ処理施設整備工事を受注いたしました。本件の受注額は41,130百万円、工期は52か月であり、国内最大級の処理能力を持つ不燃・粗大ごみ処理施設となる予定です。

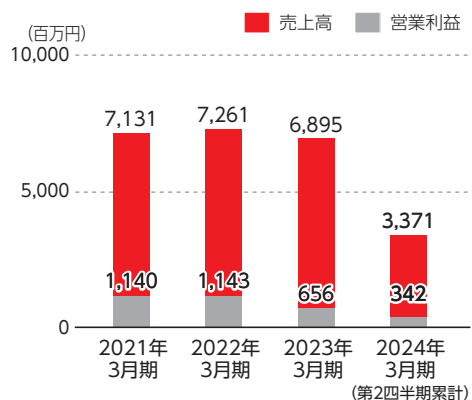
また併せて、ストックビジネスであるメンテナンス・運転受託等にも注力しました。

当セグメントの売上高は前年同期比1,359百万円(34.2%)増加し5,332百万円となりました。営業利益は前年同期比216百万円(45.7%)増加し691百万円となりました。



中防不燃・粗大ごみ処理施設

パーキング等事業



立体駐車装置はリニューアル及びメンテナンス等のストックビジネスと並行して、新規物件の受注活動にも注力しました。

コインパーキングは新型コロナウイルス感染症の影響から回復したことにより稼働率が向上し、売上・利益の確保を図りました。

当セグメントの売上高は前年同期比130百万円(4.0%)増加し3,371百万円となりました。営業利益は前年同期比19百万円(5.4%)減少し342百万円となりました。

なお、2023年10月より新たに、立体駐車装置・コインパーキング向けEV用充電設備設置・充電管理サービス「Charge-mo (チャージモ)」をスタートさせました。今後、EV普及に対応した事業を展開してまいります。



福岡工場 新工場棟・新事務所 竣工

生産能力の増強を目的とした福岡工場の新工場棟(第二組立工場)及び新事務所が竣工しました。投資額は新工場棟と新事務所合計で約8億円です。

【概要】

- ・生産能力 約30%向上 ※大型リヤダンブトラック・ダンブトレーラ
- ・作業エリアの拡張、作業効率向上
- ・日本トレクス(株)のウイングボデー車なども生産
- ・ESGの取り組みとして屋根を活用し太陽光発電(自社利用)
※当社生産工場として初の屋根上に太陽光パネルを設置



福岡工場 新事務所

日本トレクス 新工場建設中

グループ会社の日本トレクス(株)は、主力製品であるトレーラ生産の新工場を本社敷地内に建設中です。なお、投資額は約40億円で、2024年5月に完成予定です。

【概要】

- ・重要工程の自動化により生産能力 約40%向上
- ・生産工程における高所作業を減らし、安全な作業環境を構築
- ・より環境に配慮した工場へ
※部品塗装で発生する揮発性有機化合物を年間 約6.3t低減
※太陽光発電の設置によりCO₂排出量を年間 約3.2t削減



新工場イメージ



ダブル連結トラック

Scale Link® (スケールリンク) 発売

計量装置付ごみ収集車「スケールパッカー®」向けのオプションとして、回収情報をスマートフォンアプリとWEBで簡単に記録・管理できる計量支援システム「Scale Link (スケールリンク)」を開発し、2023年5月24日より発売しました。

国内初(当社調べ)の計量装置付ごみ収集車「スケールパッカー」が備える廃棄物管理の見える化などの機能を、より強力にサポートする画期的なシステムです。

【特長】

- ・回収情報の作成・記録・閲覧を簡素化
- ・回収情報の管理を効率化
- ・既存の車両にも後付けが可能



スケールパッカー



インドSATRAC社 新工場建設に向け投資覚書に署名

インドにおける旺盛な特装车需要により、2023年3月期に過去最高の業績となったグループ会社のSATRAC社は、生産能力の強化による受注の取り込みと販路拡大によるシェアアップ及び将来的な製品の輸出展開を目指し、タミル・ナドゥ州チェンナイ市近郊に新工場建設を計画中です。

州首相との面談では工場建設に対する歓迎と、建設時及び事業開始以降も政府による全面支援についてコメントをいただき、投資覚書に署名しました。

2025年度中の工場竣工及び生産開始予定です。

【概要】

- ・設備投資額:約19億円
- ・敷地面積:約5.8万㎡(予定)

SATRAC®
Trailers & Truck Builders

ベンガルール市

チェンナイ



署名式の様子

オーストラリア販売代理店 グループ化

オーストラリアの販売代理店である Import Machinery and Equipment Pty Ltd(※)の発行済株式数の90%を2023年7月7日付で取得しグループ会社化しました。

当社グループにおける豪州及びオセアニア圏の初拠点となります。

※同社は2023年10月より「Kyokuto Australia Pty Ltd」に社名変更

【会社紹介】

特殊車両の販売・整備・関連部品の販売を行い、2016年より当社の販売代理店として協力関係を築いています。また、オーストラリア国内においては、当社製のミキサーユニットの架装及び販売が好調です。

【今後の展望】

- ・ミキサートラックを中心に取扱製品の拡充とさらなる拡販を図る
- ・日本国内から豪州向けに輸出している中小型リヤダンプトラックなどの部品供給拠点として事業展開

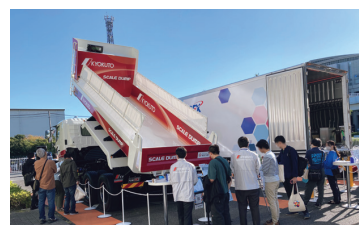


成約式の様子

JAPAN MOBILITY SHOW 2023 出展

2023年10月に東京ビッグサイトで開催された「JAPAN MOBILITY SHOW 2023」の一一般社団法人日本自動車車体工業会ブースにて、当社と日本トレックス㈱の製品を出展しました。

展示会では、「2021年度グッドデザイン賞」受賞及び「グッドデザイン・ベスト100」に選出された10tリヤダンプトラック(耐摩耗鋼板(HARDOX)・スケールダンプ仕様)と冷凍機能を持たせたスワップボデー「スワップ冷凍バンボデー」を展示しました。



展示会の様子

九州特殊モータース グループ化

グループ会社の㈱エフ・イ・オートは九州地域における指定サービス工場の㈱九州特殊モータース(本社:福岡県)の全株式を2023年4月24日付で取得し、完全子会社としてグループ化しました。

当社及びエフ・イ・オートとこれまで以上の連携を行い、九州エリア直営サービス工場として販売促進・シェア向上・サービス力強化などを図り、既存事業の強化・発展を目指してまいります。



九州特殊モータース本社工場

中防不燃・粗大ごみ処理施設整備工事受注

東京二十三区清掃一部事務組合様より中防不燃・粗大ごみ処理施設整備工事を受注いたしました。

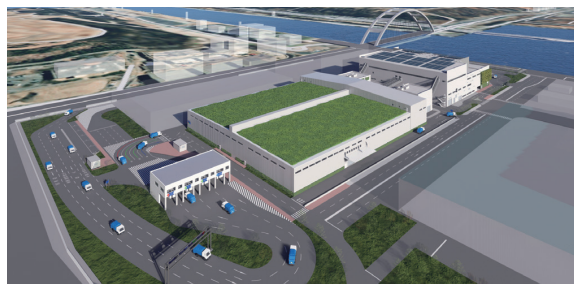
本事業は、東京都江東区の中防処理施設において、現在稼働中の処理施設及びごみ処理を継続しながら、第一プラントの建築物・プラント設備などを解体・撤去し、その跡地に国内最大級の処理能力を持つ、中防不燃・粗大ごみ処理施設を建設する事業です。

〔受注グループ〕

代表企業:当社 構成企業:東急建設(株)、岩田地崎建設(株)

〔受注金額〕

41,130百万円



外観イメージ図

西宮市東部総合処理センター破砕選別施設 整備・運営事業受注

西宮市様より東部総合処理センター破砕選別施設整備・運営事業を受注いたしました。

本事業は、西宮市にある既存施設の老朽化ならびに周辺施設との統合に伴い、破砕・選別・圧縮・梱包・保管機能、啓発機能、事務機能を備えるマテリアルリサイクル推進施設を建設、2046年3月31日まで運営・維持管理を行う事業です。

〔受注グループ〕

代表企業:当社

構成企業:(株)新井組、極東サービスエンジニアリング(株)(当社グループ)

〔受注金額〕

15,764百万円



施設完成イメージ図

新サービス「Charge-mo」10月よりスタート

グループ会社の極東開発パーキング(株)は、立体駐車装置・コインパーキング向けのEV用新サービス「Charge-mo(チャージモ)」を2023年10月からスタートしました。

EV用充電設備の「設置」「Webアプリ提供」「メンテナンス・サポート」をワンストップで提供する、立体駐車装置ではメーカーとして業界初(※)となるサービスです。

※同社調べ

〔特長〕

- ・専用のCharge-mo Webアプリで簡単に充電
- ・EV用充電設備の導入からアフターサポートまでフルパッケージのご提案
- ・マンションなどの集合住宅やコインパーキングでも設置可能



Charge-mo
Web アプリ画面イメージ

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index 2年連続選定

ESG(環境・社会・ガバナンス)の評価が高い日本企業により構成される投資インデックスである「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に今回2年連続で選定されました。



**FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index**

統合報告書2023発行のご案内

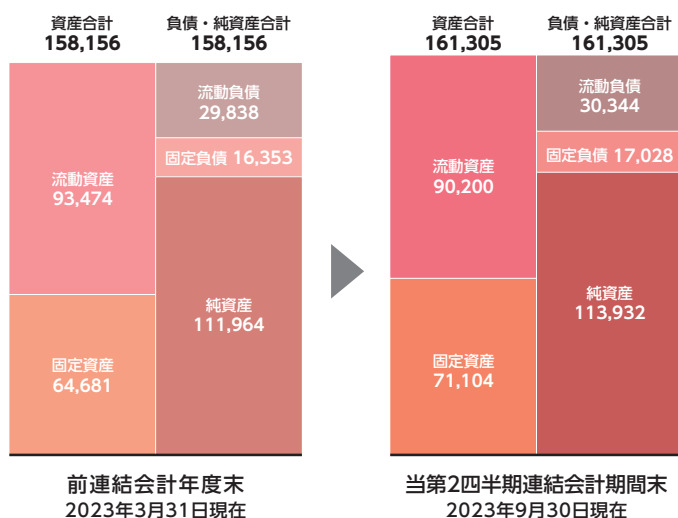
この度、新たに「統合報告書」を発行する運びとなりました。本報告書を通じて、当社グループにおける考え方や具体的な取り組み内容をステークホルダーの皆様へお伝えし共有することで、株主の皆様や従業員、地域社会の皆様へ当社グループへの共感が醸成されることを願っております。



<https://kyokuto.com/csr/pdf/integratedreports2023.pdf>

連結財務データ (日本基準)

◆ 四半期連結貸借対照表の概要 (百万円)



ポイント解説

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して(以下、前期末比)、総資産は前期末比3,149百万円(2.0%)増加して161,305百万円となりました。

流動資産につきましては、有価証券の減少等により前期末比3,274百万円(3.5%)減少して90,200百万円となりました。

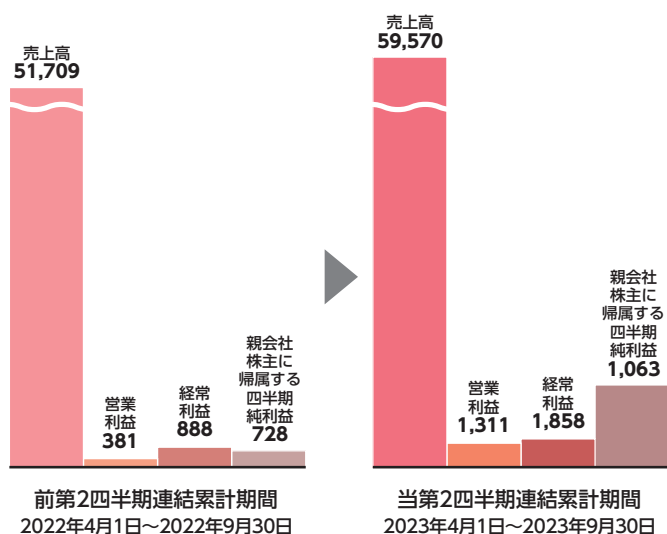
固定資産につきましては、有形固定資産の増加等により前期末比6,423百万円(9.9%)増加して71,104百万円となりました。

負債につきましては、流動負債は電子記録債務の増加等により前期末比506百万円(1.7%)増加して30,344百万円、固定負債は繰延税金負債の増加等により前期末比674百万円(4.1%)増加して17,028百万円となりました。

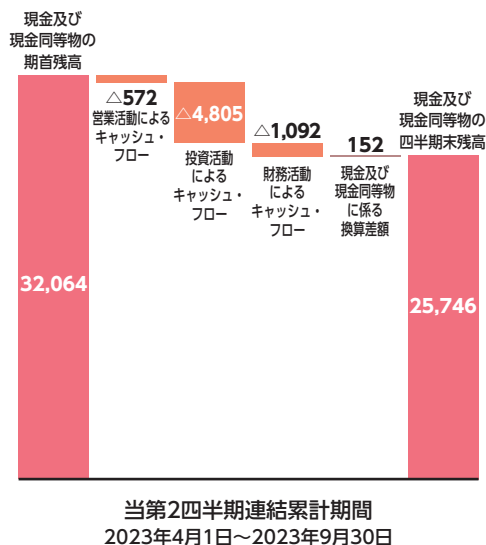
純資産につきましては、その他有価証券評価差額金の計上等により前期末比1,968百万円(1.8%)増加して113,932百万円となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末現在の自己資本比率は70.2%(前連結会計年度末70.5%)となりました。

◆ 四半期連結損益計算書の概要 (百万円)



◆ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)



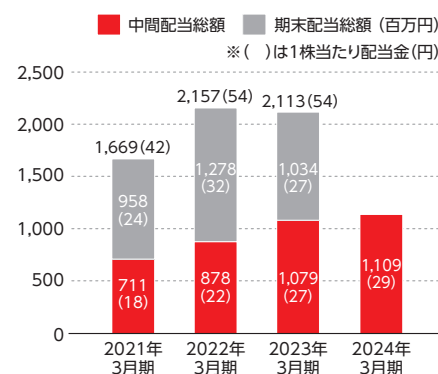
株主還元について

利益還元について

当社グループでは、株主還元を経営の最重要政策の一つと考え、業績の向上と財務体質の強化を図りながら、将来の事業展開、経済情勢等を勘案し、株主の皆様のご期待にお応えできるよう努めております。

当社の持続的成長と企業価値向上を図るため、株主の皆様に対する高水準かつ安定的な配当の両立を主眼として、業績の動向を勘案しながらも、より高い配当性向を意識した株主還元を継続的、段階的に実施してまいります。

● 配当総額の推移



◆ 企業データ (2023年9月30日現在)

[会社概要]

商 号	極東開発工業株式会社 KYOKUTO KAIHATSU KOGYO CO., LTD.
設 立	1955年6月1日
資 本 金	11,899,867,400円
従 業 員 数	連結3,239名 単独1,129名

[役 員]

代表取締役社長 社長執行役員	布 原 達 也
専務取締役 専務執行役員	原 田 一 彦
取締役 常務執行役員	則 光 健 男
取締役 常務執行役員	堀 本 昇
取締役 常務執行役員	木 津 輝 幸
社 外 取 締 役	寺 川 博 之
社 外 取 締 役	金 子 啓 子
社 外 取 締 役	友 廣 隆 宣
常 勤 監 査 役	櫻 井 晃
監 査 役	栗 山 裕 章
社 外 監 査 役	藤 原 邦 晃
社 外 監 査 役	浅 田 修 宏
常 務 執 行 役 員	高 崎 文 弘
執 行 役 員	細 澤 幸 広
執 行 役 員	高 濱 晋 一
執 行 役 員	吉 田 豊
執 行 役 員	牛 尾 昌 史
執 行 役 員	千 々 岩 伸 佐 久
執 行 役 員	野 村 達 也
執 行 役 員	岩 田 圭 介
執 行 役 員	清 水 守
執 行 役 員	山 本 浩
執 行 役 員	市 村 哲 也
執 行 役 員	佐 竹 重 幸
執 行 役 員	岡 本 智

[株主メモ]

事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定 時 株 主 総 会	毎年6月
配当金受領株主確定日	期末 3月31日 中間 9月30日
公 告 方 法	電子公告 当社ホームページにて掲載 (https://www.kyokuto.com/)

株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上 場 取 引 所	東京証券取引所 プライム市場

◆ 株式データ (2023年9月30日現在)

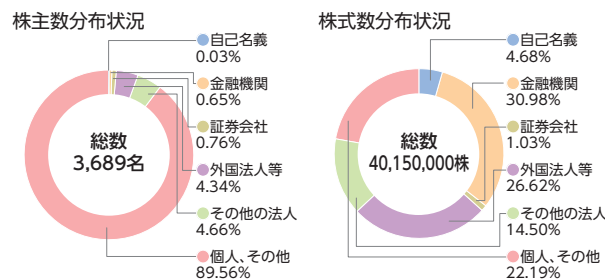
[株式の状況]

発行可能株式総数	170,950,672株
発行済株式総数	40,150,000株
株 主 数	3,689名
大 株 主	

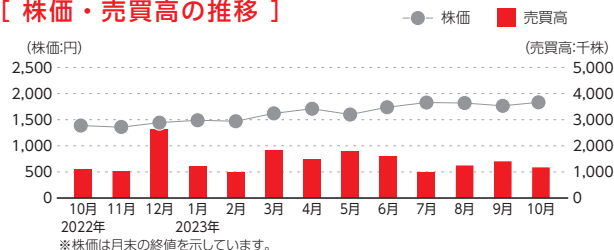
株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,082	10.67
INTERTRUST TRUSTEES (CAYMAN) LIMITED SOLELY IN ITS CAPACITY AS TRUSTEE OF JAPAN-UP	2,217	5.79
株式会社三井住友銀行	1,600	4.18
極東開発共栄会	1,566	4.09
株式会社日本カストディ銀行 (りそな銀行再信託分・株式会社みなと銀行退職給付信託口)	1,498	3.92
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,101	2.88
極東開発従業員持株会	1,027	2.69
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,012	2.65
宮原 幾男	814	2.13
INTERTRUST TRUSTEES CAYMAN LIMITED AS TRUSTEE OF JAPAN-UP UNIT TRUST	754	1.97

(注) 持株比率は、当社が保有する自己株式(1,877千株)を控除して計算しております。

[株式分布状況]



[株価・売買高の推移]



この冊子に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

〒541-8519 大阪府大阪市中央区淡路町二丁目5番11号
極東開発工業株式会社 総務部
TEL:06-6205-7800
URL:<https://www.kyokuto.com/>
MAIL:soumu@kyokuto.com

Kyokuto Kaihatsu Kogyo Co., Ltd.



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index



社名・商品名・ロゴ等は各社の商標または登録商標です。



2023
健康経営優良法人
Health and productivity

